



日本歯科色彩学会
<http://www.jacd-dc.jp>

日本歯科色彩学会 ニュースレター No.57

日本歯科色彩学会事務局 明海大学歯学部 保存修復学分野
〒350-0283 埼玉県坂戸市けやき台1-1

発行人/片山 直 TEL/049-285-5511 FAX/049-279-2741
発行日/平成26年12月28日

会員のメールアドレスを学会事務局宛へお知らせ下さい

第22回日本歯科色彩学会総会・学術大会

日本歯科大学新潟生命歯学部歯科保存学第2講座 鈴木雅也(準備委員長)

去る平成26年7月26日(土)と27日(日)に日本歯科大学新潟生命歯学部のアイヴィホールをメイン会場として、第22回日本歯科色彩学会総会・学術大会「テーマ：歯科におけるカラーコミュニケーション」(大会長：新海航一、日本歯科大学新潟生命歯学部歯科保存学第2講座)が開催されましたので、簡単ではありますが学会のご報告をいたします。

1日目の特別講演1では、元呑昭夫先生(カラーランド研究所)に「歯科における歯冠色測色法について」と題して、歯の測色法の歴史からこれからの展望についてご講演いただきました。シンポジウム「的確な歯の色の伝達」では2名の先生にご講演いただきました。1人目は、歯科技工士である遊亀裕一先生(山手デンタルアート)に「歯科技工士に必要なカラーマネジメント」と題して、色の伝達ツールにデジカメ、モニター、プリンターなど異なる器材や設定を使用している環境で、色の整合

性を図る方法をお話いただきました。2人目は小倉充先生(オグラ歯科医院)に「シェードテイキングチェアサイドで何を見る、どこを見る、どうやって見る」と題して、歯科医師が歯科技工士にどのように色の指示を出せば正しく伝達できるかについて、ご自身が実際に診療室で行っている情報の取り込み方をご紹介いただきました。

2日目の午前中は1号館のロビーでポスター発表(8題)が開催されました。各ポスター前では発表者と参加者との間で熱い討論が交わされました。特別講演2は細矢由美子先生(東北大学歯学部口腔保健発育学講座小児発達歯科学)に「研究における測色法について」と題して、ご自身の経験や研究をご提示していただきながら研究におけるルール、マナーについてご教示いただきました。

午後からは「講習会」が開催されました。必須コースは吉本貴子先生(スガ試験機株式会社製造

本部色彩課)、応用コースは有川裕之先生(鹿児島大学大学院医歯学総合研究科歯科生体材料学分野)にそれぞれご講演いただきました。吉本先生には「分光測色計を使った測色テクニックを学ぶ(基礎講義と測色体験)」と題して、分光測色計について自社で販売している最新の分光測色計について、実演を交えてご紹介していただきました。有川先生には「修復用硬質レジンの光学的性質と色調」と題して、歯科の歯冠修復材料として幅広く使用されている修復用硬質レジンと歯質との間の光学的性質の相違点についてご講演いただきました。

学会の運営につきましては行き届かない点が多々あったかと思いますが、どうかご容赦いただきたく存じます。大変暑い日でしたが、2日間

で約90名の方にご参加いただきました。ご多忙中にもかかわらずご来場いただいた皆様、本当にありがとうございました。また、本会の開催にあたり多くの皆様から後援および協賛、広告、展示をいただきました。この場を借りて深く感謝の意を表します。



LED照明に関する関心は高い

LED照明の関心は高い。特に光源の質とその評価は利用者側がどのような内容を知っておくことがよいのか内容が錯綜しがちである。そこで最新情報を蒐集し役立つ内容として整理した。特に白色LEDは各社それぞれある中、日本照明委員会が照明と光に関する規格制定を行い必要とされている方法を提案されていることに注目した。また同委員会がセミナーを紹介し併せて2015年に開催される展示会について掲示し本学会員へお知らせいたしました。

■LED照明システムによる室内照明の質評価法のレビュー

CIE 205 Review of Lighting Quality Measures for Interior Lighting with LED Lighting Systems

近年の光束と効率の向上に伴い、LEDは従来的一般照明用光源に匹敵するようになってきてい

る。指向性、小面積、高輝度といったLEDの典型的な特徴は、もはや新光源としての特徴でなくなったにもかかわらず、オフィス、教室、会議室、病室といった場所の機能照明にとっては新しい特徴(LED単体、複数組み合わせのLEDとも)である。LEDを適用した照明環境の質に関する既存の評価方法の多くは、拡散性の蛍光灯を用いた研究に由来、あるいは参照している。本レポートは、市販の室内LED照明システムに対する既存の照明環境の質に関する評価法の適用性について情報を提供している。既存の評価方法の欠陥、弱点を明らかにし、新しい質の評価方法を提案、必要とされる研究について提案している。

■【無料セミナー】第31回JCIEセミナー「有機EL照明の標準化の最新動向」

日本国内では、LED照明が急速に普及し、市場

に出荷されている照明器具の約62%をLED照明器具が占めるに至っている(2013年度)。本セミナーで取り上げる有機EL(エレクトロルミネセンス)は、LEDに次ぐ新しい照明光源として開発と商品化が進められている。この有機ELは、大面積で比較的均一な発光を実現可能である。さらに、自在に曲げることも可能であるなど、従来照明光源やLEDでは実現不可能な特性を有しており、有機EL特有の特性を利用した新しい形の照明の実現が期待されている。しかし、新しい光源ゆえの技術的な課題の解決と普及にあたっての規格整備などが要求されている。本会では、2014年度より「省エネルギー等国際標準共同研究開発・普及基盤構築事業：有機EL照明の性能評価等に関する国際標準化・普及基盤構築」を再受託し、有機EL照明の標準化に取り組んでいる。本セミナーでは、この活動を紹介している。

【日 時】2014年12月9日(火)13:30～14:40

【場 所】中央大学駿河台記念館670号室

【主 催】(一社)日本照明委員会

【協 賛】(公社)応用物理学会、(一社)照明学会、
(一社)日本建築学会、日本色彩学会、(一社)
日本照明工業会、(一社)日本人間工学会、
(一財)光産業技術振興協会、(NPO)LED
照明推進協議会

【参加費】無料

■ライティング・フェア2015

【日 時】2015年3月3日(火)～6日(金)10:00～7:00

【展示場】「東京ビッグサイト」西1・2ホール

【主 催】一般社団法人日本照明工業会、日本経済
新聞社

(文責：元香昭夫)

平成26年度講習会報告

本講習会は必須コースと応用コースがあり、会員、非会員を問わず、色彩学に興味を有している人を対象にしております。平成19年度より学術大会時に開催されるようになり、今回の第22回日本歯科色彩学会総会・学術大会で8回を終えました。また、この講習会は会員の色彩学に対する能力の向上を図るとともに歯科色彩認定士申請あるいは認定士更新の必要条件を満たすことを目的としておりまして、認定士委員会との連携を模索しております。以下に講習会カード、受講後の感想をまとめましたのでご報告致します。

■講習会カード記載

●必須コース

平成26年7月27日(日) 13:10～14:30

吉本貴子講師(スガ試験機株式会社 製造本部 色彩課 課長代理)

「分光測色計を使った測色テクニックを学ぶ(基礎講義と測色体験)」

受講者：25名(日本歯科色彩学会 会員：24名、非会員：1名)内：認定士資格 有：10名、無：15名(資格取得予定者：12名)

●応用コース

平成26年7月27日(日) 14:40～16:00

有川裕之講師(鹿児島大学大学院医歯薬総合研究科 歯科生体材料学分野)

「修復用硬質レジン」の光学的性質と色調」

受講者：26名(日本歯科色彩学会 会員：26名、
非会員：0名)内：認定士資格 有：12名、無：14名
(資格取得予定者：12名)

■受講後の感想のまとめ

●必須コース

- ・基礎知識の復習・再確認になった(大部分が既知のことであった)：5
- ・基礎の勉強ができ、よくわかった(丁寧な説明であった)：3
- ・若い研究者には有効であると思う(研究者のための別のコースが適当)：2
- ・色の質感を評価する必要性を感じた：1
- ・品質管理の重要性を思い出した：1
- ・歯とシェードガイドの違いが興味深かった：1
- ・メタメリズムと測色環境の重要性が理解できた：1
- ・実際の測色器を用いた講習は参考になった：1
- ・シェードガイドの測定の難しさが示された：1
- ・デモの測色器は研究に使えるも臨床では使えない：1
- ・デモの測色器の本体の価格はいくらか：1
- ・測色器のカスタマイズの予算、器具の大きさ、光源の種類等の説明がほしかった：1
- ・他の会社の機種も見たかった：1
- ・学会主導で歯科材料等の測色を規格化して一律に比較できるようにならないか：1

- ・歯科色彩学会講習会のレベルとしてこれで良いのか：1

●応用コース

- ・色調に及ぼす材料の特性について詳細に説明されて良かった。
- ・温度変化により屈折率が変化し、透明性、色彩に影響することは興味深かった：6
- ・温度変化による影響についてはラボにおいても気をつけたい：1
- ・測色条件に温度の明記が必要になってくると思う：1
- ・コンポジットレジンの成分(フィラー、光増感材の種類)が色調、透過光波長分散に影響していることは興味深かった(光増感材PPDについて詳しく知りたい)：5
- ・吸水したコンポジットレジンは色が変化するか：1
- ・基礎的な話よりも実践的な話が聞きたい：1
- ・患者に許容される色の変化等の心理と色についての講習を期待している：1
- ・講習会の受講料は学会参加費に含んでほしい(受講証無しで無料受講はできないか)：1

今回の講習会も大会本部のご協力のもとで無事終了することができました。大会長の新海航一先生、準備委員長の鈴木雅也先生、関係各位に厚く御礼申し上げます。

(日本歯科色彩学会講習会委員長 堀田正人)

日本歯科色彩学会 2014年度見学会・認定士講習会

「LED照明と3Dプリンタの最新技術動向」

2014年ノーベル物理学賞の受賞者に、青い光を放つLED・発光ダイオードの開発に成功し、フルカラーの大型画面の実現など様々な応用への道を開いた、名城大学教授の赤崎勇氏、名古屋大学大学院教授の天野浩氏、カリフォルニア大学教授の中村修二氏の日本人研究者3名が選ばれました。

日本が世界に先駆けて開発・製品化した青色LEDが世界的に高く評価されたものであり、今後も、日本が本分野で先端研究、事業活動をリードし、LEDのより一層の普及が予測されます。

照明機器としてのLEDでは、今回、見学する株式会社ムトーエンジニアリングにより、目視検査に特化した平板検査照明機器が商品化されており、同社独自の製造技術と高度な品質管理により、検査分野では他社の追随を許さない性能の照明機器となっています。

また、同社は製図用ドラフトから発展した会社で3D CADも長年にわたって販売してきた実績があり、3Dプリンタにおいても国内最大規模を誇るショールームを完備しています。

そこで、今年度は見学会と認定士講習会を併催として、LED 照明開発担当者による照明に関する講習と3Dプリンタを中心とした見学を企画いたしました。内容は下記の通りです。

1.LED平板照明の考え方と品質管理の実際

- ・平板照明を活用した目視検査の考え方
- ・演色性評価
- ・各種照明の分光カーブの比較
- ・視感比色体験（シェードガイド）

2.各種3Dプリンタの見学

- ・石膏パウダータイプ
- ・プラスチック樹脂タイプ（フルカラー、UV硬化型、熱溶解型）
- ・金属タイプ（ダイレクトメタルプロダクション、粉末レーザー焼結）

なお、関連会社の株式会社ムトーフィギュアワールドでは、顔全体を約5秒で超高速3Dスキャンして、100種類以上の衣装や髪型を組み合わせたデータを3Dプリンタ（石膏パウダータイプ）で成形するサービスがありますので、希望者は有償ですが（3,000円～）体験することもできます。

見学会・認定士講習会の終了後には、懇親会を企画しております。皆様お誘い合わせの上、奮ってご参加下さいますようご案内申し上げます。

日時：2015年2月19日（木）15：00～17：00（懇親会は17：30～18：00開始予定）

会場：株式会社ムトーエンジニアリング

〒154-8560 東京都世田谷区池尻3丁目1番3号

申し込み締め切り 2015年1月20日(火) 定員になり次第締め切らせて頂きます。

参加費：認定士 無料、本学会員 ¥1,000、非会員 ¥3,000、学生 無料、懇親会費 ¥5,000

懇親会会場：パール・エ・トラットリア・ピウウ（Bar E Torattoria Piu）東京都目黒区東山3-1-11 サンサーラ東山 1F ※会費は当日徴収させていただきます。

※下記申込書に記入の上、FAX及びe-Mailをご送信ください。

※今見学会から学会に入会の方は、当日受付にて入会手続きをお願いいたします。

次年度4月からの年会費に充当します。また、歯科色彩に関心のあるお知り合いがいらっしゃいましたら、是非ご紹介ください。

申込先：日本歯科色彩学会 事務局明海大学歯学部機能保存回復学講座 保存修復学分野

〒350-0283 埼玉県坂戸市けやき台1-1

TEL：049-285-5511 FAX：049-279-2741

担当：小澤 有美 e-Mail：ozyumiopd@dent.meikai.ac.jp

お問合せ先：日本歯科色彩学会 認定士委員会事務局 埼玉歯科技工士専門学校

TEL：048-685-5211 FAX：048-685-5239

担当：中山 友克 e-Mail：t_nakayama@dtcs.ac.jp

----- お申し込みは以下にご記入の上、FAX及びe-Mailをご送信ください -----

2015年2月19日 日本歯科色彩学会 見学会・認定士講習会 申込書

ふりがな

お名前

- 認定士 会員 非会員（今回から会員）
歯科医師 歯科技工士 歯科衛生士 その他

ご住所・所属

〒

TEL： FAX：

e-Mail：

懇親会 参加 不参加

事務局よりお知らせ●年会費納入のお願い

年度初めに機関誌と一緒に年会費納入のお知らせを同封させていただきました。
未納の会員の皆様は、下記の郵便局口座に必要事項を明記の上お振込み下さい。
よろしくお願いたします。

ゆうちょ銀行 店番号 019(ゼロイチキユウ)
当座 0418461 日本歯科色彩学会

振込方法 1)郵便局備え付けの振込用紙から
2)電信振替

どちらからでも振り込みは可能です。住所等の変更がありましたら必ず明記をお願いいたします。

日本歯科色彩学会 事務局

〒350-0283 埼玉県坂戸市けやき台1-1

明海大学歯学部機能保存回復学講座保存治療学分野

担当 小澤 有美

E-mail ozyumiopd@dent.meikai.ac.jp

TEL 049-285-5511 FAX 049-279-2741

●新入会員ご紹介

日下部修介、新谷耕平、森田侑宜、村瀬由起

以上4名

●2015年度 日本歯科色彩学会、第3回総会・学術大会開催について

会期：平成27(2015)年7月25日(土)26日(日)

会場：岐阜じゅうろくプラザにて

大会長、朝日大学歯学部 堀田正人先生で開催の予定です。

最新情報はホームページ<http://www.jacd-dc.jp/>にてご確認下さい。

編集後記

本学会活動は表立って目にとまらない、地味で専門的な研究会であるように受け取られているようである。たしかに学会という名称には古くさい体質を持つイメージがある。特に企業人としては学会入会となるとその感がいっそう強く、ましてや中小零細企業人である筆者などはまったくお呼びじゃないことになる。本学会は歯科における色彩の研究と発表、講演、見学そして学術交流の場として存立しており、歯科専門という領域のみの学術研究では閉塞感を伴う。しかし広大無限の色彩の研究が対象であることにより事情は一変する。

かつて産業界で色彩を取り入れた企業と色彩を

考えなかった違いがその後の命運を分けたように、地味ではあるけれど着実な成長の下支えとなる色彩の研究にもっと多くの賛同を得られるようにとの思いを抱きつつ、今回のニュースレターは巷間話題になっているLEDと本年度計画の見学会開催をお知らせいたします。平成27年予定の学術大会の計画は朝日大学堀田正人大会長が準備されておられ第一報を本ニュースレターで紹介いたします。年末から新年度に入りますが会員各位へ宜しくお願申し上げる次第です。

(文責：元呑昭夫)

(ニュースレター委員会 市村 葉、斉藤 誠、元呑 昭夫)